**地域密着型サービス運営推進会議記録（第　2　回）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 施設名 | グループホーム花乃苑 | |
| 施設種類 | 認知症対応型共同生活介護 | |
| 開催日時 | 令和　7年　6月　26日　　１０時００分　～　１０時４０分 | |
| 会場 | グループホーム　花乃苑　羽ノ浦 | |
| 参加者 | 利用者代表 | １人 |
| 利用者家族代表 | ０人 |
| 民生員 | ０人 |
| 高齢者お世話センター | １人 |
| 市職員 | １人 |
| 他事業所 | １人 |
| 有識者 | ０人 |
| 事業者 | １人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 報告事項 | 1. 現状報告   a）認知症対応型共同生活介護利用者（R7.6/26現在）  男性3名　女性15名　　合計18名  利用者平均年齢　87.3歳（74～97歳）    　《要介護別》　要介護１（１名）要介護２（9名）　要介護３（1名）  　　　　　　　　要介護４（5名）要介護５（２名）  　　b）入・退居者    　　　　6/17退居　要介護4　男性　86歳　特養へ転居  　　　　6/25入居　要介護4　女性　90歳　特養より転居    ２．活動内容（5月～6月）    　　端午の節句、誕生会、ドライブ、菖蒲の花見、買い物、そら豆収穫  ３．事故報告（5月～6月）  　　ヒヤリハットが４件発生  　　・移動介助中の転倒（発赤程度の軽い打撲）3件  　　・利用者様が他の利用者様の車椅子を操作し指を詰める　1件    ４．その他  　・5月職員研修（内部）“感染症・食中毒の予防およびまん延防止に関する研修”  　・6月職員研修（内部）“非常災害時の対応に関する研修”  ・R7年6月より食費、共益費の改定を実施 |
| 議題① | 「頻回にトイレを希望される利用者様の対応について」  　5分～10分毎にトイレを希望される利用者様が2名いらっしゃいます。お二人とも車椅子を使用されトイレまでの移動や排泄動作には全介助を要する状態です。トイレに行ったことを説明しても納得されず、「トイレに行きたい」との訴えが続きます。見かねた他利用者様が車椅子を押してトイレに行こうとされることが何度もありました。ご利用者様のご希望通りトイレにお連れしても排泄のないことも多く・・・。トイレに行く時間をメモでお知らせしたり、気持ちが切り替えられるようなレクを勧めたり等々、いろんな対応を試してみましたが効果はありませんでした。ご自分で尿意を感じトイレに行く意思を重視して差し上げたいのですが、この方につきっきりでの介助は難しい状況です。会議出席者の方より対応法についてご意見をいただきました。  　（出席者の方より）  ・頻尿となる原因の切り分けが必要。身体的、精神的、認知症のうちどれが原因となっているのか。まずは泌尿器科を受診してみるのも良いのではないか。内服治療により改善することもある。  ・声かけや気持ちを切り替える等で、できるだけトイレの間隔を確保する。  　頻回に排尿することで、膀胱が硬く小さくなり溜まる量が少なくなる。膀胱に少量の尿しか溜まっていなくても尿意を感じるようになってしまう。  ・特に車いすを利用する等で下肢筋力が低下すると、排泄に関連する筋力も低下するので、頻尿になる傾向がある。  ・高齢となり段々と筋力が低下していくのはある程度、自然なことではあるが、低下しないように運動やリハビリをすることは大切。  ・認知症の方にはよくある症状で自施設では2～3分程度で訴える方もいらっしゃる。夜間も10回を超えてトイレに起きる方がいらっしゃり、転倒が心配。センサーマットを利用し助かっている。  色々なご意見をいただきました。 |
|  |
| その他 | ・次回の運営推進会議開催は8月末の予定 |